

検査IV 商 業

(解答上の注意) 解答は、全て解答用紙に記入すること。

1 次の「観光地マーケティング」についての会話文を読み、(1)から(7)の各問いに答えなさい。

Aさん：観光地マーケティングの活動によって多くの観光客を誘致できれば、地域産業の活性化につながり、観光地としての魅力が高まれば、その地域への移住者を増加させる効果も期待できるってことだね。

Bさん：そうだね。観光地としての魅力を高めるためには、地域内の多様な(a)利害関係者が綿密に連携をとらなければならないね。

Aさん：それには(b)地域の観光地マーケティングのまとめ役となるような組織が必要だね。

Bさん：そうだね。その組織には、地方自治体や地域住民、観光関連事業者と合意を形成しながら、地域の魅力を発掘して、売り出すことが求められるね。

Aさん：観光地マーケティングの課題としては、どんなことがあげられるのかな？

Bさん：海外からの訪日外国人を誘致して、(ア)消費を増加させることが観光業にとっては重要じゃないかな。そのためには、国ごとに異なる文化を理解し、それぞれに合ったサービスを提供するなどの工夫が欠かせないよね。それと、(c)オーセンティシティを求める観光客が増えているため、その訴求を検討しなければならないね。

Aさん：オーセンティシティって日本語でどんな意味？

Bさん：本物感とか真正性という意味だよ。

Aさん：なるほど、そのとおりだね。地域産業の活性化のために、多くの観光客を誘致できるといいね。

Bさん：でもね、(d)観光地に著しく多くの観光客が来た結果、住民の生活環境や自然環境、観光客の満足度などに負の影響が生じる現象もあるんだよ。

Aさん：それは知らなかった。それなら観光地の長期的な発展のために、観光に携わる事業者には、(e)持続可能な観光を実現する視点が求められているね。

(1) (ア)にあてはまる適切な語句を、カタカナ6文字で答えなさい。

(2) 下線部(a)を何というか、カタカナ8文字で答えなさい。

(3) 下線部(b)の組織を何というか、アルファベット3文字で答えなさい。

(4) 下線部(c)は具体的にどのようなことか答えなさい。

(5) 下線部(d)の現象を何というか、カタカナ9文字で答えなさい。

(6) 下線部(d)の現象の未然防止または抑制に向けた対策としてどのようなことが考えられるか、簡潔に3つ答えなさい。

(7) 下線部(e)を何というか、カタカナで答えなさい。

検 査 IV 商 業

2 次の文を読み、(1)から(5)の各問いに答えなさい。

(a) 商品代金の支払手段として約束手形を利用することがある。約束手形は、将来の一定の期日に一定の金額を支払うことを約束する有価証券であり、振り出しにあたっては、銀行に(b) 預金口座を開設したうえで手形取引契約を結び、約束手形用紙の交付を受けておかなければならない。

下記の約束手形は、令和5年10月15日に、松本商事株式会社が長野商事株式会社から商品400,000円を仕入れ、令和5年11月15日を支払期日として振り出したものである。

	No. 52 約束手形 ADO5831	松本 1032 0401-009
	(省 略) 殿	支払期日 省 略
収 入 紙 印	金 額 ¥400,000※	支 払 地 省 略
	上記の金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き換えにお支払いいたします。	支払場所 八十銀行松本支店
	①	
	振出地 住所 (省 略)	
印	松本商事株式会社 印	
	振出人 代表取締役 上 田 太 郎 印	

- (1) 下線部(a)のように、支払手段として約束手形を利用する理由を答えなさい。
- (2) 下線部(b)の預金の種類を答えなさい。
- (3) 上記の約束手形の ① に入る期日を答えなさい。
- (4) この手形が不渡りになったとき、手形の所持人は振出人や裏書人に対して、手形金額の支払いを求めることができる。これを何というか答えなさい。
- (5) 不渡手形を出すと、振出人はどのような処分を受けるか、次の文の(ア)から(ウ)にあてはまる数字または語句を答えなさい。

振出人が(ア)か月以内に(イ)回の不渡りをおこした場合は、銀行から(ウ)の処分を受ける。

検 査 IV 商 業

3 次の企業活動に関する文を読み、(1)及び(2)の各問いに答えなさい。

企業経営者は、事業活動を行うにあたり、活動の基盤となる(a) 経営資源を入手して、それらを効率的に利用することが求められる。

経営資源のうち企業が保有する資金を財務的資源といい、企業は(b) 調達した資金を活用して必要な資材や設備を購入したり、従業員を雇用したりして事業活動を行っている。そのため、企業にとって資金調達は重要な活動といえる。

- (1) 下線部(a)について、財務的資源以外の経営資源を3つ答えなさい。
 (2) 下線部(b)について、株式会社が企業外部から資金を調達する方法を3つ答えなさい。

4 次の文は知的財産権について説明したものである。(1)及び(2)の各問いに答えなさい。

発明者が開発した画期的な技術や製品などは、独占的に利用される知的財産権の対象である。知的財産権は、著作権と（ア）に分けられ、(ア)には、（イ）権、実用新案権、意匠権、商標権の四つがあり、このなかでも発明の独占的利用に関わるのが(イ)権である。

企業は、自社が開発した技術や製品から利益を得るために、(イ)を申請する必要がある。取得した(イ)を自社が独占的に利用することを（ウ）戦略といい、他社に(イ)を使用する権利を与えてロイヤリティを得たり、無償で技術内容を公開したりすることを（エ）戦略という。

- (1) (ア)から(エ)にあてはまる適切な語句を答えなさい。
 (2) 下線部にはどのようなメリットがあるか答えなさい。

5 次のA社の財務諸表をもとに、(1)及び(2)の各問いに答えなさい。答えはパーセントで求め、端数処理は計算の最終で小数第2位を四捨五入し、第1位まで求めること。

〔A社財務諸表〕 貸借対照表（単位：円）

資産の部（一部抜粋）

流動資産	
現金及び預金	500,000
受取手形	35,000
売掛金	320,000
有価証券	250,000
商品及び製品	250,000
仕掛品	20,000
原材料及び貯蔵品	40,000
貸倒引当金	△20,000

負債の部（一部抜粋）

流動負債合計	750,000
固定負債合計	1,000,000

純資産の部（一部抜粋）

資本金	1,000,000
資本剰余金合計	400,000
利益剰余金合計	1,300,000
評価・換算差額等合計	50,000

- (1) 当座比率を求めなさい。比率は、当座資産及び流動負債を用いること。
 (2) 自己資本比率を求めなさい。比率は、総資産及び自己資本を用いること。

検 査 IV 商 業

6 次の(1)から(5)の取引の仕訳を答えなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金
未	収	金	仮	払	金	仮	払	消	費	建		物
備		品	支	払	手	買	掛	金	未	払	金	
仮	受	金	仮	受	消	費	税	未	払	消	費	税
利	益	準	備	金	繰	越	利	益	剰	余	金	売
仕	入	修	繕	費	支	払	利	息	為	替	差	損
												益

(1) 2枚の伝票は、ある1つの取引について作成されたものである。

出 金 伝 票		振 替 伝 票			
科 目	金 額	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
買 掛 金	50,000	仕 入	250,000	買 掛 金	250,000

(2) 松本物産株式会社は、株式会社長野商店に商品を販売し、商品とともに請求書(兼納品書)を発送した。なお、商品売買の記帳は三分法により、消費税は税抜方式で処理する。

請 求 書 (控)			
株式会社長野商店 御中		令和6年6月10日	
		松本物産株式会社	
商 品 名	数 量	単 価	金 額
A品	20	10,000	200,000
B品	10	8,000	80,000
C品	10	7,000	70,000
入金期日 令和6年6月25日		小 計	350,000
振込先 信州銀行 松本支店 普通預金		消費税(10%)	35,000
マツモトブツヤン(カ)		合 計	385,000

(3) 店舗の改築と修繕を行い、代金¥12,000,000を当座預金口座より支払った。なお、建物の資産価値を高める支出額(資本的支出)は¥10,000,000であり、建物の現状を維持するための支出額(収益的支出)は¥2,000,000である。

(4) アメリカの得意先から売掛金5,000ドルの送金があり、取引銀行で円に両替して、当座預金口座に入金した。なお、商品の輸出時の為替相場は1ドルあたり¥140で、決済時の為替相場は1ドルあたり¥136であった。

(5) 安曇商店から商品を¥70,000で仕入れ、代金は掛けとしていたが、誤って借方と貸方を逆に記帳していることが判明したので、誤りを訂正した。なお、商品売買の記帳は三分法により処理する。

検査IV 商 業

7 次の(1)決算整理前の各勘定残高と(2)決算整理事項等にもとづいて、解答用紙の貸借対照表及び損益計算書を完成しなさい。

なお、会計期間は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間である。

(1) 決算整理前の各勘定残高

<借方残高の勘定科目>

現 金 ¥ 363,500	当座預金A銀行 ¥ 535,000	受取手形 ¥ 231,500
売掛金 ¥ 157,500	繰越商品 ¥ 545,000	備 品 ¥ 300,000
仕 入 ¥ 3,400,000	給 料 ¥ 371,500	通 信 費 ¥ 12,000
租 税 公 課 ¥ 24,000	支 払 家 賃 ¥ 385,000	保 険 料 ¥ 165,000

<貸方残高の勘定科目>

当座預金B銀行 ¥ 25,000	支 払 手 形 ¥ 173,000	買 掛 金 ¥ 107,000
借 入 金 ¥ 250,000	仮 受 金 ¥ 14,000	貸倒引当金 ¥ 6,000
減価償却累計額 ¥ 90,000	資 本 金 ¥ 1,300,000	繰越利益剰余金 ¥ 220,000
売 上 ¥ 4,305,000		

(2) 決算整理事項等

- ① 仮受金¥14,000 は、得意先からの売掛金の回収であることが判明した。
- ② 現金の実際有高は¥363,000であり、帳簿残高との差額原因は不明であるため雑損とする。
- ③ 当座預金B銀行勘定の貸方残高¥25,000 は、当座借越契約にもとづく期末借越額をあらわしており、当座借越勘定に振り替える。
- ④ 受取手形及び売掛金の期末残高に対して実積率法により4%の貸倒れを見積もる。
なお、貸倒引当金の設定は差額補充法によること。
- ⑤ 期末商品棚卸高は¥714,000である。
- ⑥ 備品について定額法により減価償却を行う。なお、備品のうち¥100,000は当期の1月1日に購入して使用しており、新備品の減価償却は月割計算による。耐用年数は、旧備品が8年、新備品が5年であり、残存価額はいずれも零(0)である。
- ⑦ 通信費のうち、¥5,000は未使用の切手代である。また、租税公課のうち、¥10,000は未使用の収入印紙代である。これらをあわせて貯蔵品勘定に振り替える。
- ⑧ 保険料は、毎年同額(1年分)を7月1日に前払いしている。

検査IV 商 業

- 8 ある工場では、総合原価計算を採用している。次の資料にもとづき、仕掛品勘定を完成しなさい。なお、原料は工程の始点ですべて投入され、()内の数値は加工費の進捗度を示し、月末仕掛品の評価は平均法による。

<生産データ>

月初仕掛品	300 個	(50%)
当月投入	<u>2,400</u>	
合計	2,700 個	
月末仕掛品	<u>200</u>	(25%)
完 成 品	<u>2,500</u> 個	

検査IV 商 業

9 次の(1)及び(2)の各問いに答えなさい。

(1) 次の①から③は、売上情報の分析において、効率よく商品管理をするためのグラフを説明したものである。それぞれに該当するグラフ名をA群から、また、最も適切な活用例をB群から選び、記号で答えなさい。

① 月別売上高、月別売上高累計、移動合計の3つのデータをそれぞれ折れ線グラフであらわしたものの。

② 商品の売上高を降順に並べ替えて、売上構成比と累積構成比を求め、商品の売上高を棒グラフで、累積構成比を折れ線グラフであらわしたものの。

③ ある時点の売上を基準の100%としてそれ以降の売上を比率であらわした折れ線グラフ。

<A群>

ア ファンチャート イ Zグラフ ウ パレート図

<B群>

ア 各月の微妙な売上の変化や、季節的要因による微妙な売上の変動が考えられる商品の売上傾向を把握して、今後の需要を予測したい。

イ 準主力商品について、商品の売上伸び率や落ち込み率を分析し、今後主力商品に成長する可能性があるか検討したい。

ウ 商品の売上数量や売上高に着目し、在庫管理や販売管理において、重要度が高い、重点的に管理すべき対象を明らかにしたい。

(2) ある屋台のおでん屋では、毎年おでんを作り過ぎて無駄なコストが発生している。そこで、コストを削減するために平均気温と売上数の相関関係を調べてみることにした。次の①から⑤の各問いに答えなさい。

① 表1のデータを解答用紙に示すグラフにプロットしなさい。

② ①のように、2つの要素を縦軸、横軸に対応させ、データを点であらわしたグラフを何というか。

③ 表1のデータを活用して、2つの要素の関係性から売上予測を行うことにした。予測したい値であるおでんの売上数 y と、変化する値である平均気温 x との関係を一次方程式であらわしたところ ($y = -11.751x + 207.93$) となった。平均気温が 4°C と予想される2月8日のおでんの売上数を予測しなさい。(小数点以下切り上げ)

④ ③で行った分析方法を答えなさい。

⑤ 表1のデータからどのようなことが読み取れるか。相関関係を示しながら、分析結果を答えなさい。

月日	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7
平均気温	5°C	9°C	-1°C	-5°C	6°C	10°C	2°C
売上数	140 個	110 個	210 個	270 個	150 個	80 個	190 個

(表1)

検査IV 商 業

10 第1図のある野球チームの投手勝ち数データを読み、第3図の配列を利用し、投手別に勝ち数の多い順に順位をつけて、第2図のような勝ち数順位一覧表を作成する。(1)から(4)の各問いに答えなさい。

◆入力形式

投手名	勝ち数
(MEI)	(SU)
×××	××

(第1図)

◆出力形式

(投手名)	(勝ち数)	(順位)
山田	10	3
宮本	15	1
⋮	⋮	⋮

(第2図)

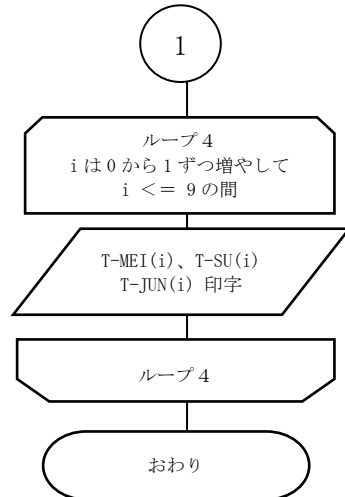
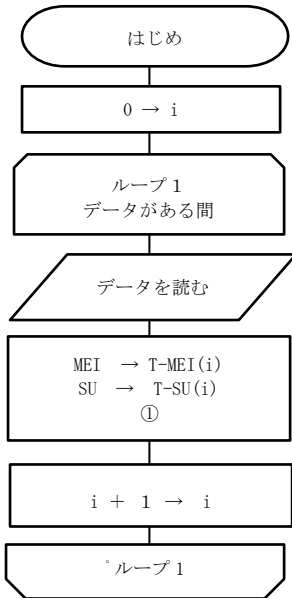
◆配列

	(0)	(1)	(9)
T-MEI			~
	(0)	(1)	(9)
T-SU			~
	(0)	(1)	(9)
T-JUN			~

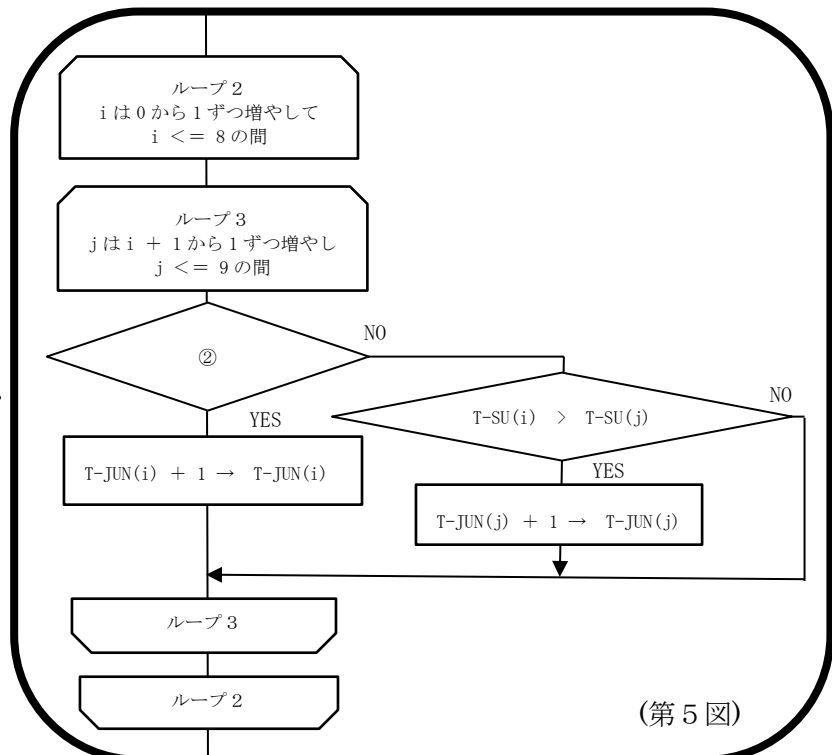
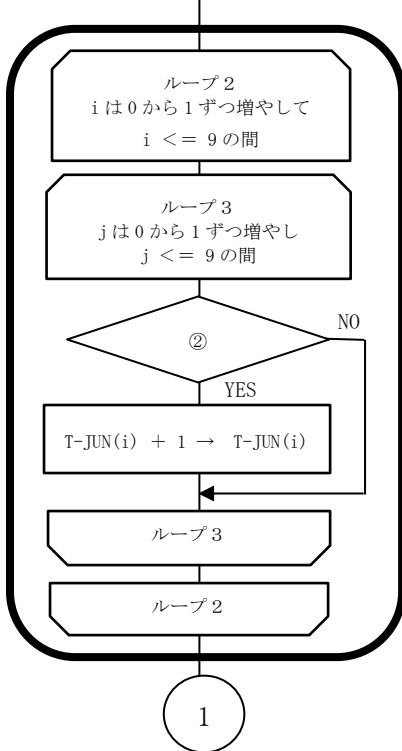
(第3図)

◆処理条件

- (ア) 入力データを格納するために、第3図に示す、投手名 (T-MEI) と勝ち数 (T-SU) の配列を用意する。
- (イ) 第3図に示す、順位 (T-JUN) は、順位づけのための配列とする。
- (ウ) 投手の数は、10人とする。
- (エ) 勝ち数が同じ場合は、同順位とする。
- (オ) エラーはないものとする。



(第4図)



(第5図)

検 査 IV 商 業

- (1) 第4図の流れ図の①・②に記述する必要な処理を答えなさい。
- (2) 第4図の流れ図でプログラムを実行した場合の比較回数を答えなさい。
- (3) 第4図の流れ図では、比較回数が多くなるため、第4図の枠の部分を第5図のように変更した。この場合の比較回数を答えなさい。
- (4) 第4図の枠の部分を第5図のように変更すると比較回数が少なくなる。その理由を答えなさい。

11 次の(1)から(4)の各問いに答えなさい。

- (1) 次の表1は、あるフィギュアスケート大会の評価表である。審査員3名の合計得点が総得点となる。総得点をもとに評価換算表を参照して評価を表示する。

そこでG4に「=VLOOKUP(F4, \$I\$3:\$K\$7, 3, FALSE)」と入力し、この式をG15までコピーしたところ表1に示されたような結果にならなかった。なぜ、正しい結果を得ることができなかったのか、式の誤りの理由と正しい数式を答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		フィギュアスケート評価表							評価換算表		
3	選手番号	選手名	審査員1	審査員2	審査員3	総得点	評価		1～17	D	
4	T001	長野 花子	7	6	5	18	C		18～20	C	
5	T002	辰野 京子	7	8	6	21	B		21～23	B	
6	T003	伊那 春子	8	8	8	24	A		24～26	A	
7	T004	中野 静	3	5	4	12	D		27～30	S	
8	T005	松本 かな	9	8	9	26	A				
9	T006	松川 みか	2	3	4	9	D				
10	T007	佐久 奈津子	7	7	8	22	B				
11	T008	須坂 みえ	5	4	4	13	D				
12	T009	小諸 道子	9	8	10	27	S				
13	T010	渡田 恵美子	8	6	5	19	C				
14	T011	望月 なな	8	7	7	22	B				
15	T012	飯田 菜	3	2	3	8	D				
16											(表1)

- (2) デジタルカメラで、横1,500ピクセル、縦1,200ピクセル、フルカラー(24ビットカラー)で撮影した画像の記憶容量は何MBか答えなさい。なお、1MBは 10^6 Bとし、画像の圧縮は行わないものとする。
- (3) 通信速度が400Mbpsの回線を用いて、2,550MBのデータを転送するのに必要な時間は何秒か答えなさい。なお、1MBは 10^6 Bとし、伝送効率は85%である。そのほかの外部要因は考えないものとする。
- (4) クロック周波数が1GHz、1命令4クロックで実行できるコンピュータがある。このコンピュータが1秒間に実行できる命令回数を答えなさい。